

平成 26 年度

学校自己評価
及び

学校関係者評価報告書

学校法人つくば文化学園
つくば国際ペット専門学校

(1) 教育理念・目標

評価項目 (適切-4 ほぼ適切-3 やや不適切-2 不適切-1)	自己評価	学校関係者評価
学校の理念・目的は定められているか	4	4
理念・目的・育成人材像・特色などが生徒・保護者に周知されているか	3	3
各コースの教育目標・育成人材像は業界や社会のニーズに向けて方向づけられているか	4	4
課題 学校の特色の周知は機会・浸透度も良好であるが、教育理念や学校の目的についての周知は未だ不十分である。特に保護者への伝達の機会が課題である。		
今後の改善方策 オープンキャンパス等での紹介や、各行事などの機会を利用し周知、浸透を図りたい。		
学校関係者評価委員会での意見 教育理念や目的は、時流や社会情勢に合わせ具体的な例を上げて学生に説明し、理解度を上げることにより浸透を図りたい。		
特記事項 なし		

(2) 学校運営

評価項目 (適切-4 ほぼ適切-3 やや不適切-2 不適切-1)	自己評価	学校関係者評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	4
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	4
教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	4	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	4
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	4
課題 学校運営やコンプライアンス体制は適切である。継続的に取り組む仕組みが課題である。		
今後の改善方策 入学対象年齢の減少による生徒減少に備え、より強固な学校運営を目指し、システムの精査を行うと同時に業界や地域社会との関係強化を図りたい。		
学校関係者評価委員会での意見 安定した学校運営であるが、情報提供を積極的に行い、社会や業界との双方向の情報共有も必要である。		
特記事項 なし		

(3) 教育活動

評価項目（適切-4 ほぼ適切-3 やや不適切-2 不適切-1）	自己評価	学校関係者評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	4
コース等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4
実践的な職業教育のためのカリキュラムや教育方法の工夫・開発が実施されているか	3	4
インターンシップなどの実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	4	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4	4
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	4
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	4
人材育成目標の達成に向け要件を備えた教員を確保しているか	4	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3
課題 教育方法の工夫・開発や職員の能力開発においては各教員に依存している部分が多く格差が生じていることから組織的に取り組んでいく必要がある。		
今後の改善方策 カリキュラムの編成は教育課程編成委員会を中心として常に改善していく体制を取っているが、各授業内での工夫などは教員間のミーティングや研修会の開催などで積極的に取り組みたい。経費の学校負担で教職員の研修などの機会の増加を図りたい。		
学校関係者評価委員会での意見 パートナードッグを中心とした独自のスタイルとカリキュラムは資格試験の合格率や技能の習熟度の高さに現れている。今後は企業内で技術を十分に発揮し活躍できるよう社会に通用する人間作りに対応できる教職員の研修環境を整備したい。		
特記事項 なし		

(4) 学修成果

評価項目（適切-4 ほぼ適切-3 やや不適切-2 不適切-1）	自己評価	学校関係者評価
就職率の目標を設定しているか	4	4
就職率の向上が図られているか	4	4
退学率の低減が図られているか	4	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3	2
卒業生のキャリア形成の状況を把握し教育活動の改善に活用されているか	3	3

<p>課題</p> <p>卒業生の支援として就職相談窓口は開設しているが、実際の相談は少なく、卒業生の声も学校には届きにくいと、企業内での卒業生の状況や問題点などを把握できる仕組みの構築が必要である。</p>
<p>今後の改善方策</p> <p>卒業生支援策として求人票の開示、就職イベントへの招待、座談会などを開催し、細かく情報を吸い上げ把握に努めたい。また、担任ベースの相談や支援の機会を増やしたい。</p>
<p>学校関係者評価委員会での意見</p> <p>退学率低減を狙った校内イベントは教職員の努力が認められ大きな効果が出ていることに感心している。今後は、授業や実習の魅力で退学者がいなくなるような取り組みを期待したい。</p>
<p>特記事項</p> <p>なし</p>

(5) 学生支援

評価項目 (適切-4 ほぼ適切-3 やや不適切-2 不適切-1)	自己評価	学校関係者評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4
学生相談に関する体制は整備されているか	3	3
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4	4
保護者と適切に連携しているか	3	3
卒業生への支援体制はあるか	4	3
<p>課題</p> <p>日常の学生相談の窓口として担任や担当職員があたっているが、専門カウンセラーの必要を感じる事例もあり、対応しきれていない。保護者との連携においては、連絡がつかない場合や日程上の都合などで急な対応が難しい場合がある。</p>		
<p>今後の改善方策</p> <p>学生相談窓口の位置づけとして学生の拠り所となる体制を整えたい。保護者との連携については、携帯電話を利用して直接連絡を取り、極力来校していただき、情報共有に努めたい。</p>		
<p>学校関係者評価委員会での意見</p> <p>多様化する学生の気質や家庭環境に対応できるよう社会や他校での事例を把握しておく努力が必要である。学生指導のセミナー等を利用してみてはどうか。</p>		
<p>特記事項</p> <p>なし</p>		

(6) 教育環境

評価項目 (適切-4 ほぼ適切-3 やや不適切-2 不適切-1)	自己評価	学校関係者 評価
施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	4
学内以外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について教育体制を整備しているか	4	4
防災に対する体制は整備されているか	3	3
<p>課題</p> <p>施設、実習、研修に関する環境は体制的に整えているが、全学生が参加し満足できるような企画提案が必要である。</p> <p>防災については、物資の備蓄や防災訓練が必要である。</p>		
<p>今後の改善方策</p> <p>現行行事の海外研修やインターンシップ制度の見直しを行い、対象学年の生徒全員が十分活用できるようサポート体制を整えたい。防災については行政機関との連携を図りたい。</p>		
<p>学校関係者評価委員会での意見</p> <p>学生の内には是非国内外のペット事情や社会情勢を肌で感じてもらえるようプランや費用負担の再検討が必要である。防災は地域社会のリーダー的存在役割を担うべきである。</p>		
<p>特記事項</p> <p>なし</p>		

(7) 学生募集と受け入れ

評価項目 (適切-4 ほぼ適切-3 やや不適切-2 不適切-1)	自己評価	学校関係者 評価
学生募集活動は適正に行われているか	4	4
学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか	4	4
学納金の設定は妥当か	4	4
オープンキャンパス等の開催時期・内容は適切か	4	4
定員の設定と定員充足率はどうか	4	4
<p>課題</p> <p>学生募集は印刷物、Web 関係、広報活動などが一体となり当校の特色や教育成果などが伝わっている。継続的な取り組みができるような仕組み作りが必要である。</p>		
<p>今後の改善方策</p> <p>更なる工夫を重ねて学校の特色や実績などを統一された情報として発信していきたい。定員については超過に対する方針策定が必要である。</p>		
<p>学校関係者評価委員会での意見</p> <p>安定した学生募集を続けていて安心である。定員充足も重要であるが学生の質を向上させる良い機会であると思う。</p>		

特記事項 なし

(8) 財務

評価項目 (適切-4 ほぼ適切-3 やや不適切-2 不適切-1)	自己評価	学校関係者 評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4
財務について会計監査が適切に行われているか	4	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4	4
課題 財務状況は安定していて計画も適正である。 長期的な計画作りが必要である。		
今後の改善方策 安定経営をさらに続けて行く努力を継続する。 継続的に規程による財務情報公開を実施していく。		
学校関係者評価委員会での意見 学生の日常の学習、学生募集活動には安定した財務状況が不可欠である。施設・設備の整備についての予算計画も必要性を感じる。		
特記事項 なし		

(9) 法令等の遵守

評価項目 (適切-4 ほぼ適切-3 やや不適切-2 不適切-1)	自己評価	学校関係者 評価
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	3	3
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3	4
自己評価結果を公開しているか	4	4
課題 自己評価と学校関係者評価を実施しているが、評価項目の定期的見直しも必要である。個人情報に関しては、特定の職員が情報を扱うなど十分注意をしているが、専門の部署や設備を設置するなどの万全の対策までは取っていない。		
今後の改善方策 法令や設置基準は多岐にわたり、更なる理解と適切な認識が必要である。専門職員による職員教育等も必要になる。		

学校関係者評価委員会での意見

自己評価と情報公開は継続的な努力が必要である。全職員が学校の信頼維持のために真摯に取り組む必要がある。

特記事項

なし